

平成 22 年度地方公務員のための職員研修・海外派遣

欧州総合環境問題調査団報告書

長崎市議会議員 緒方 富昭
長崎市議会議員 柳川八百秀
長崎市議会議員 野口 三孝

視察の目的

環境対策調査の目的でドイツ・スイス・フランスの 3 カ国を訪問しました。

ドイツでは廃棄物の処理方法について、処理施設の現場を訪問して調査研修を行ないました。

フランスでは都市景観と都市の緑地ネットワークや屋上緑化対策、また、下水処理と環境教育について研修を行ないました。

スイスでは河川改修による水害防止対策などをテーマに研修、それぞれの場所を実際に自分の目で見て体験し、現場を中心に 3 カ国 4 都市 6 施設で研修と意見交換を深め帰国後の各行政に活かす目的で訪問しました。

以下、その概要についてご報告いたします。

視察期間 平成 22 年 11 月 7 日 ～ 11 月 14 日 (8 日間)

視察都市 ドイツ：フランクフルト・カールスルーエ
スイス：ベルン
フランス：パリ

はじめに

公職研の平成 22 年度地方公務員のための職員研修・海外派遣事業の一つであります「欧州総合環境問題調査団」に参加いたしました。期間は 11 月 7 日から 14 日までの日程で実施され、参加者は予定していた人員より減り、結果としては 5 名の調査団となりました。

出発日の成田空港で初顔合わせ、長崎から 3 名の議員と長野県の町職員、東京都の市から職員 1 名で構成し、視察団の団長を野口議員にお願いすることを決定しました。

歴史や文化の異なる他国の空気や人々の生活を実際に自分の肌で感じ体験することも今後の活動に重要と考えております。

そこで、今回は特に自由時間、朝夕の時間に街を散策（遊さるく）し、それぞれの国の人と、ふれあいたいと思い、言葉の不安が少しありましたが積極的に街に出かけ多くの事を体験することが出来ました。

この 8 日間の視察を団員全員で協力して充実した有意義な研修にする事が出来ました。

以下、それぞれ視察研修した内容について概要を報告します。

日 程

月 日	都 市 名	視 察 地	摘 要
平成 22 年 11 月 7 日 (日)	東京 (成田) 発 ロンドン経由 フランクフルト (着)		空路 【フランクフルト泊】
8 日 (月)	フランクフルト カールスルーエ (着)	フランクフルト	▽フランクフルト近郊清掃処理場 ・ 廃棄物処理行政の概要 ・ 再生資源回収方法の概要など 【カールスルーエ泊】
9 日 (火)	カールスルーエ (ICU : フランス高 速鉄道にてベルンに 移動) ベルン (着)	カールスルーエ	▽カールスルーエ市景観計画部訪問 ・ 都市景観構築の経緯と概要 ・ 緑のネットワーク作りによる自然の再生と 地域の活性化 ▽午後より現地視察 ・ 緑のネットワーク・公園・屋上緑化 ・ 飛行場後のビオトープや維持、管理状況 【ベルン泊】
10 日 (水)	ベルン	ベルン	▽ベルン州環境部訪問 ・ 自然保護と都市機能強化の両立 ・ 中山間に位置する州の水害対策の概要 ▽午後・各自市内文化施設調査 【ベルン泊】
11 日 (木)	ベルン発 (TGV : 高速鉄道に てパリへ) パリ・リヨン駅 (着)	パリ	▽デファンス再開発地区視察 ・ 都市過密緩和のための副都心の形成と都市 デザイン視察 ・ 文化公共施設視察 【パリ泊】
12 日 (金)	パリ	パリ	▽SIAH (水利整備広域行政事務組合) 下水道処 理場訪問 ・ 下水処理状況とセーヌ川の水質向上の経緯 ▽セナール環境の家視察 ・ 行政としての自然環境対策や教育への取り 組み状況 【パリ泊】
13 日 (土)	パリ発		帰国準備 【機内泊】
14 日 (日)	東京 (成田) 羽田より長崎へ		入国手続終了後、解散 長崎着